

伊木まり子後援会ー生駒の未来をつくる会
 〒630-0261 生駒市西旭ヶ丘1-2 Tel & Fax 0743-71-6601
 E-mail: ikomanomirai@iris.eonet.ne.jp URL: http://www.eonet.ne.jp/ ikomanomirai

伊木まり子と 生駒の未来をつくる会ニュース

第1巻 第4号

発行日2007年5月30日

ハイライト:

- 1日も早く市民の病院をつくらう!
- 議長、正副委員長決まる。議会刷新への道遠し。
- 酒井隆議員に辞職勧告の全会一致で努力!
- 全員協議会公開へ 反対勢力も依然あり
- クリーンで開かれた議会・市政のために傍聴に行こう!

6595票の重みを感じつつ、議員生活スタート!

去る4月22日、生駒市議会議員選挙で、思いもよらぬ6595もの大量得票でトップ当選させていただきました。市民のみなさんの大きな期待と責任の重さを痛感しています。選挙は終わりましたが、本番はこれから。議会で公約実現にがんばります。今後ともどうぞ温かい御支援と鋭いご意見、そして時には叱咤激励を伊木まり子にお寄せくださいますようお願い申し上げます。



証書を受け取るトップ当選の伊木まり子さん(右、生駒市役所で)
読売新聞5月25日朝刊

議長は反市長派の井上充生氏に! 議会刷新への道遠し

5月14日、選挙後初めての議会が開かれました。議題は正副市議会議長の選出と各種委員会委員の選任です。正副議長は議員の互選で選ばれ、委員は議長が指名します。

した新人の樋口清士氏がいずれも10票で選ばれ、伊木は6票で次点でした。市長派でも反市長派でもないと思われていた議員の内、4人が反市長派と組んでしまったのです。

議長と言えば、誰でも思い出すのが酒井隆議員。現在、背任とあっせん収賄の疑いで拘留されています。この後任だけに、議長が誰になるかは大きな関心事でした。「生駒市議会は変わりました!」と言えるかどうかが問われたのです。

さらにもう一つ。議長から4つの常設委員会と3つの特別委員会の委員が示されました。伊木を議長に推した議員はだれも正副委員長にはなりませんでした。

ところが、正副議長には高山開発推進派で反市長派の井上充生氏とそれを推

した新人の樋口清士氏がいずれも10票で選ばれ、伊木は6票で次点でした。市長派でも反市長派でもないと思われていた議員の内、4人が反市長派と組んでしまったのです。



目次:

6595票の重みを感じつつ、議員生活スタート!	1
議長は反市長派の井上充生氏に! 議会刷新への道遠し	1
酒井隆議員に辞職勧告、全会一致で採択	1
まり子から	2
全員協議会が公開に! でも、それで一悶着	3
伊木は環境文教委と新	3
お話サロン 北新町在住TTさん	3
6月議会の日程案が決まりました。みなさん傍聴に来てください。	4
Dr.Marikoの健康ひとくちコラム この時期は紫外線にご注意を	4

酒井隆議員に辞職勧告、全会一致で採択

今回の議会での一番の収穫は、酒井隆議員に対する辞職勧告決議が全会一致で採択されたことです。

た。議会の良識が示されたと思います。

当初、黎明(角田、塩見議員) + 共産党 + 伊木、および公明党から別々に決議案が提案されようとしていました。伊木はこのような事案は複数の議案を採決して票が割れるよりも、内容をすり合わせて全会一致で採択する方がよいと主張しました。幸い、両陣営ともその努力をしてくださり、全会一致という形になりました。

しかし、あくまでも勧告ですから、辞職は酒井議員の判断です。この決議の意義は、酒井議員のような嫌疑をかけられると辞職を勧告されるということをもベテラン保守派議員も含めて全会一致で確認したことです。もし、現職議員の中から同様の嫌疑をかけられれば、当然辞職することになるわけですから。議員に対する多少の抑止力になるはずは



ホームページとブログもご覧ください!
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>



まり子から

私、伊木まり子は無党派でいきます！

このページには伊木まり子の生の声を掲載します。喜びも怒りも共有できればと思います。

4月22日に当選証書を付与された後、無党派の新人議員全員と意見交換を行いました。主に会派をどのように組むかという点でした。会派とは議会内でのグループで、3人以上で組むと議会運営委員会に委員を出せるなどの利点があります。角田、塩見議員が作った会派「黎明」とは何度も話し合いました。新人の樋口、中浦、谷村議員の「草創」とも話し合いました。いずれからも一緒にやりませんかと誘われました。会派届けの締め切り日、5月11日まで話し合いましたが、結局、次のような理由で1人でやっていくことにしました。

私は病院問題を山下市長と一緒に考えてきまし

た。しかし、それ以外の問題については市長と意見交換をしたことがほとんどありません。黎明の2議員は市長が代表を勤めていたさわやか生駒の役員です。市長と共に歩んでこられ、市政改革、議会改革を最優先課題として掲げておられます。反市長派議員との意見の相違も明らかです。私は新病院建設を最優先に考えています。病院問題は命に関わる問題で、本来超党派で考える問題です。どのような方とも党派、会派の枠を越えた率直な意見交換のできる立場、すなわち無党派でいることが、新病院建設への近道であろうと考えたのです。

そのため、重要ポストはまわってきませんでした。伊木まり子は新人らしくフロアから論戦を挑み、公約を実現する努力をいたします。



あの生駒山に恥じない、クリーンな市政をつくりたい

私は母校奈良高校から見える生駒山が大好きでした。ふもとに暮らしている人を優しく包みこむようななだらかな稜線を見ては“生駒”は良い街だと内心自慢に思っていました。しかし、最近の“生駒”は前市長の逮捕、前議長の逮捕、再逮捕、再々逮捕、ひどい街の代表になってしまいました。

議会本来の役割である行政を監視する機能どころか、議会を代表する立場の議長自らが市長と共に市民の血税で私腹を肥やしていたのです。生駒総合病院の閉院問題や後医療問題で前市長や市の幹部と交渉する中、前市政は市民の方を向いていないといつも感じてきました。その血税は市民の

医療のために使うべきではなかったか？ どれだけ私腹を肥やしていたのか？ 今回の収賄事件は腹立たしくてなりません。

これから決して血税が私利私欲のために使われることのないように、自浄能力を持ち、しっかり行政を監視できる議会にし、クリーンな市政を創りたいと思います。



我が家から見える生駒山。このやさしい山に恥じない、安心して生まれ、育ち、暮らせる生駒市にしたい。そのためにがんばりましょう。

5月14日に傍聴に来られた方にはご迷惑をおかけしました

5月14日の臨時議会を傍聴に来られた方は「長い間待たされるばかりで、何の説明もない」とお怒りだったと思います。本会議が休会している間、議会運営委員会と7つの委員会の委員を決める協議や交渉が行われ、その結果を説明する全員協議会などが断続的に行われていたのです。

この臨時議会は私にとって最初の議会でしたし、新人議員が議長に推されるという前代未聞のこともあり、かなり緊張していました。そのため、傍聴に来て頂いた多くの方々にまで気を配ることができず、申し訳ありませんでした。休会中に何をしているかや再開の予定などをきちんと伝えるべきでした。この点は

すでに議会事務局に伝え、善処することになっています。これ以外にもまだまだ問題は出てくるでしょう。ひとつひとつ解決していきたいと思っていますので、お気づきの点はご指摘ください。

しかし、考えてみると、傍聴者に対するこのような基本的な配慮もそのためのルールも生駒市議会にはなかったのです。これまで議会はいかに市民から遠いところにあったのか、それを証明する出来事であったらうと思います。

市議会を市民に近づけ、開かれた市政をつくるために、市民のみなさんの注目が必要です。これに懲りず、ぜひこれからも傍聴においでください。



全員協議会が公開に！ でも、それで一悶着

全員協議会は議員全員が出席して各種の連絡を受けたり、議会運営の仕方を議論するものようです。しかし、これまでは非公開で議事録も残されず、まったくの密室でした。開かれた議会が市民の声であることは、これを主張した多くの新人議員が誕生したことに示されています。その市民の声に押される形で、全員協議会が公開になりました。これは市民が克ち取った大きな成果と言えましょう。

ところが、井上議長は傍聴者を一般4人、報道関係4人に制限する提案をしました。十分な傍聴席があるのに制限するのはおかしい話です。制限する理由を伊木が問うと、「今までのルールや」と誰か

のヤジ。今までは非公開だったのだから、4人に制限するのがルールなわけないでしょ。角田議員から「入れるだけ傍聴を許可しよう」と提案があり、その提案が反対5、賛成多数で可決され、制限のない直接傍聴が実現しました。開かれた議会に一步近づいた瞬間でした。これは多くの方が傍聴に来てくださった成果です。

しかし、この一悶着は、議長を含め、いまだに議会の公開に消極的な勢力はいるのだ、ということを示しています。開かれた議会と新しい市政をつくるための鍵は、これからも市民のみなさんが議会に注目することです。これからもぜひ傍聴においでください。

伊木まり子は「環境文教委員会」と「新病院設置等に関する委員会」に

議会には4つの常任委員会(企画総務、市民福祉、環境文教、都市建設)と3つの特別委員会(駅前再開発、北部地域開発、新病院設置)があります。伊木は『環境文教委員会』と『新病院設置等に関する委員会』に加わるようになりました。「環境」と「病院」は伊木の専門に関わる分野なので、しっかりと意見を言い、役割を果たしてくれるでしょう。

さて、委員会の委員は議長の指名により決まり、委員長、副委員長は委員の互選により決まります。各委員会の委員長、副委員長は右の表のとおりです。議長選で伊木に投票した議員は誰も正副委員長にはなりません。これが今の議会の現実です。まだまだこれからです。

委員会	委員長	副委員長
議会運営委	中谷尚敬	下村晴意
企画総務委	西口広信	中浦新悟
市民福祉委	矢奥憲一	福中眞美
環境文教委	小笹浩樹	谷村淳子
都市建設委	下村晴意	有村京子
駅前再開発委	中野陽泰	中谷尚敬
北部地域開発委	福中眞美	白本和久
新病院設置委	有村京子	谷村淳子

お話サロン

北新町在住主婦TTさんからのご便りです。

私が通うある医院の待合室では、いつも「生駒は病院がないので困るね～」と嘆く声が聞こえてきます。私が以前住んでいた東海地方のある都市では国立・市立の病院があり、当時子供が幼かった私達家族も安心して暮らすことができました。また、ガン検診を受けている人が多かったのも、気軽に検診を受け、安心して治療が受けられる体制が整っていたからではないかと思えます。



TTさん、「医療は生活を支え、命を守る社会保障」まったくそのとおりだと思います。私たちの一番大切なもの、みんなの命と健康を守るためにがんばります。

生駒では、なぜ市民の病院建設が置き去りにされてきたのでしょうか。

私自身、総合病院で手術を受けた後、突然閉院になったため年に一度の検診をカルテのある病院で受けられなくなりました。同じように不自由を強いられている方はたくさんおられるでしょう。「もし災害・事故等があれば生駒市民はどうなるのか」皆、不安を抱えながら暮らしています。病院は『ハコ物』ではありません。市民の生活を支え、命を守る『社会保障』です。市民に信頼され、愛される病院が一日も早くできることを強く願います。

このコーナーではみなさんからの便りを紹介します。どしどしメール、ファックスでお寄せください。お待ちしております！(^^)/



6月議会の予定が決まりました。みなさん傍聴に来てください！

6月の定例議会は右表の予定で、4日の議会運営委員会で正式に決まります。伊木は初めての一般質問をおこないます。日程はホームページでお知らせします。みなさん、応援に来てください！

5月はたった1日の議会でしたが、議会はそう簡単には変わらないことを実感しました。開かれたクリーンな議会にするためには、市民のみなさんの監視が必要です。

日 程	午前10時	午後1時
6月4日(月)	議会運営委員会	全員協議会
6月8日(金)	本 会 議	
6月11日(月)	本 会 議	
6月12日(火)	本 会 議	
6月13日(水)	都市建設委員会	市民福祉委員会
6月14日(木)	環境文教委員会	企画総務委員会
6月18日(月)	議会運営委員会	全員協議会
6月21日(木)	本 会 議	

お忙しいとは思いますが、どうか傍聴においでください。なお、6月議会から本会議ですが、インターネットによる配信が始まります。こちらの方にもご注目ください。

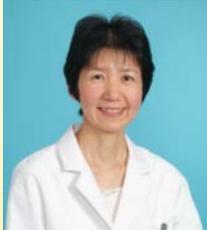
編集後記

5月の臨時議会が終わってすぐに後援会ニュースNo.4をお届けしようと思っていたのですが、遅くなりました。選挙事務所に使っていた自宅を改修し、後援会事務所にしました。危なかった上がり口のブロック階段も手すりがついて上がりやすくなりました。座りやすい椅子とテーブルも入れ、アメニティは向上しています。

伊木は何をしてるんだとお怒りだったり、どうしているかな、と心配になられたら、ぜひおいでください。お待ちしております。(M.I.)



Dr. Marikoの健康ひとくちコラム この時期は紫外線にご注意を



紫外線の功罪は大きく2つに分けられます。1つめはシミ・しわの原因、美容的な問題です。2つめは、皮膚ガンと皮膚炎の原因、病的な問題です。

『いつまでも若くてきれいなお肌』これは男女を問わずみなさんの願いだと思います。この願いを紫外線はじゃまします。紫外線に当たると色が黒くなりますね。これは、メラノサイトという色素を作る細胞が紫外線から皮膚の細胞を守るうとして色素を量産するからです。正常の働きなのですが、紫外線に当たり続けるとメラノサイトが暴走して色素を作り続けシミになります。また、紫外線に当たり続けると皮膚に光老化がおこりしわになります。シミ・しわを最小限にとどめるためには、日傘・帽子・日焼け止めクリームなどで紫外線から皮膚を守る必要があります。日焼け止めは、通常2、3時間で効果がなくなりますので、塗り直してください。また、紫外線の強さに応じて、紫外線防御効果の強さが適当な日焼け止めを使ってください。SPF、PAが効果の指標です。購入するとき店員さんに相談してください。なお、まれに日焼け止めにかぶれることがあります。

紫外線は皮膚の細胞の遺伝子に傷害を与えます。

人間の体には傷を治す機構が備わっているのですが、何度も傷が付いたり、治す機構に異常があると皮膚ガンができます。そのため、最近母子手帳から日光浴をしましょうという記載は削除されました。

代表的な皮膚ガンは、高齢者の顔にできやすい基底細胞癌です。これは私の研究テーマの一つですが、通常、形がいびつな(まんまるではない)黒光りした(口を塗ったような)病変です。2,3mmの小さなものもありますが、大きくなると深部へ及びえぐれたようになります。

紫外線にあたると2、3日のうちに赤い小さなぶつぶつができたり、皮膚が赤く腫れあがる人もいます。紫外線により皮膚炎が起きるのです。薬をつけてもなかなか治りません。実は私も紫外線で皮膚炎を起こす体質です。選挙中、街宣車にのり終日紫外線を浴び、また、日焼け止めを塗り直す時間がなかったので、つい最近まで大変な状態でした。とにかく、紫外線をさける努力をするしかありません。そんなわけで、5月26日の生駒山スカイウオークには参加できませんでした。

夏にかけて紫外線はどんどん強くなります。曇った日でも油断できません。外出する前には紫外線の防御を心がけてくださいね。